

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社FUCHA COCO HOUSE かほく（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025/2/17		2025/3/1
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025/2/17		2025/2/21
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/1		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の療育支援を行なっている	児童の成長に合わせて、支援内容を支援者が工夫をして準備をしています。その日の体調や気持ちに合わせて、臨機応変に支援内容を変更しています。保護者の要望にも寄り添い、児童本人と保護者に満足感を感じてもらえるような支援を心がけています。	支援内容を職員間で共有し、ご家族との連携も引き続き行なっていきます。ご家族と信頼関係を築くことにより、児童へより良い支援が行えるよう関わっていきます。
2	有資格のスタッフが多い	児童指導員、保育士等の資格を持ったスタッフが多く、専門性を持って児童の支援にあたることができます。	各々の知識や経験を共有し、統一した支援が行えるよう引き続きミーティング等を通して意識をしています。
3	お出かけに出かける頻度が多い 毎日違ったイベントを実施している	学校休業時（長期休暇等）にはお出かけに行く頻度を多く設け、社会とのつながりを意識した関わりを行なっています。また、毎日違うイベントを開催しており、児童の楽しみややりがいへと繋げています。	児童や保護者の声にも耳を傾け、通うのが楽しくなるような活動を提供できるよう、今後も工夫をしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	女子児童が少ない	時期やタイミングなどもありますが、男子児童が多い傾向にあります。	新規の受け入れ時に、男女比のバランス等にも配慮をしながら、受け入れをしていければと考えています。
2	男性スタッフが少ない	男性スタッフの求人が少ないことから、女性スタッフが全体の9割ほどを占めています。	男女比のバランス等にも配慮をしながら、求人活動を行えるよう努めています。
3	非常時の対応が不安	避難訓練の実施やBCP等の整備をして体制を整えています。が、実際の災害等が起こった際の対応は経験不足としてあるため、有事の対応について不安なところがあります。	有事に備えた準備をしつつ、研修等を行っていきながら、スタッフのスキル向上を目指します。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社FUCHA COCO HOUSE かほく（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025/2/17 ～ 2025/3/1			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025/2/17 ～ 2025/2/21			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/1			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の療育支援を行なっている	児童の成長に合わせて、支援内容を支援者が工夫をして準備をしています。その日の体調や気持ちに合わせて、臨機応変に支援内容を変更しています。保護者の要望にも寄り添い、児童本人と保護者に満足感を感じてもらえるような支援を心がけています。	支援内容を職員間で共有し、ご家族との連携も引き続き行なっています。ご家族と信頼関係を築くことにより、児童へより良い支援が行えるよう関わっていきます。
2	有資格のスタッフが多い	児童指導員、保育士等の資格を持ったスタッフが多く、専門性を持って児童の支援にあたることができます。	各々の知識や経験を共有し、統一した支援が行えるよう引き続きミーティング等を通して意識をしています。
3	お出かけに出かける頻度が多い 毎日違ったイベントを実施している	学校休業時（長期休暇等）にはお出かけに行く頻度を多く設け、社会とのつながりを意識した関わりを行なっています。また、毎日違うイベントを開催しており、児童の楽しみややりがいへと繋げています。	児童や保護者の声に耳を傾け、通うのが楽しくなるような活動を提供できるよう、今後も工夫をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	女子児童が少ない	時期やタイミングなどもありますが、男子児童が多い傾向にあります。	新規の受け入れ時に、男女比のバランス等にも配慮をしながら、受け入れをしていければと考えています。
2	男性スタッフが少ない	男性スタッフの求人が少ないことから、女性スタッフが全体の9割ほどを占めています。	男女比のバランス等にも配慮をしながら、求人活動を行えるよう努めています。
3	非常時の対応が不安	避難訓練の実施やBCP等の整備をして体制を整えています。が、実際の災害等が起こった際の対応は経験不足としてあるため、有事の対応について不安なところがあります。	有事に備えた準備をしつつ、研修等続けながら、スタッフのスキル向上を目指します。